

## 研究課題名「細胞内外エフェクターに対する大腸がん細胞の適応システムの包括的解析と新規免疫療法の開発」に関する情報公開

### 1. 研究の対象

2015年1月1日から2027年3月31日の期間に九州大学病院別府病院外科、九州大学病院消化器・総合外科において、大腸癌のため入院または通院された、もしくは入院・通院されている患者さんで、大腸癌の手術を施行された後に肝転移または肺転移再発されたため、肝切除、肺切除を受けたまたは受ける予定の方。または、過去に九州大学病院で「消化器癌患者の末梢血液中における転移再発の予測因子候補に関する臨床的意義の確立」研究に参加された方を対象としています。

### 2. 研究目的・方法・研究期間

研究目的：がん組織は、がん細胞内・外の多くの因子に影響を受けて形成されます。このような細胞内・外の因子が、免疫やがん細胞の悪性化に影響しますが、詳細は明らかになっていません。本研究では大腸がんの1細胞レベルの発現解析から、細胞外因子やがんの周囲の細胞が体の免疫システムに与える影響を明らかにします。これまでの研究から、腫瘍の免疫状態と治療の反応性に関連があることがわかっています。より治療反応性のよい免疫状態にする重要な因子の同定を本研究では目指しています。

研究方法：手術で摘出した病変より数カ所を試料として採取します。診療のために採取した組織の残余分を採取する予定であり、その後の診療に影響を与えることはありません。収集した試料はすべて非識別化されて保存されます。腫瘍組織からRNAおよびDNAを抽出して解析します。

研究期間：実施承認日 ～ (西暦) 2030年 3月 31日

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、既往歴、家族歴、合併症、喫煙、飲酒量、転帰、血液検査結果、画像検査結果、手術所見、病理学的検査結果

試料：手術で切除した腫瘍検体

### 4. 外部への試料・情報の提供

採取された検体は名前を非識別化したうえで、名古屋大学大学院医学系研究科、東京大学、国立がん研究センター研究所および Genome Institute of Singapore に送付されます。

## 5. 研究組織

|        |  |
|--------|--|
| 研究責任者  | 教授・近藤 豊  |
| 研究分担者  | 名古屋大学大学院医学系研究科 腫瘍生物学<br>講師 新城恵子<br>名古屋大学大学院医学系研究科 腫瘍生物学<br>助教 鈴木美穂   |
| 共同研究機関 | 東京大学 医科学研究所 教授 柴田 龍弘<br>九州大学病院別府病院 教授 三森 功士<br>九州大学大学院医学系学府 大学院生 河田 古都<br>九州大学病院 肝臓・脾臓・門脈・肝臓移植外科 臨床准教授<br>伊藤 心二<br>九州大学大学院医学研究院 消化器・総合外科学分野 准教授<br>沖 英次<br>九州大学大学院医学研究院 消化器・総合外科学分野 教授<br>吉住 朋晴<br>九州大学大学院医学研究院 形態機能病理分野 教授 小田 義直<br>九州大学大学病院 病理部 准教授 岩崎 健<br>国立がん研究センター研究所、計算生命科学ユニット 独立ユニット<br>長 小嶋 泰弘<br>国立がん研究センター 外来研究員 廣瀬 遥香<br>Genome Institute of Singapore, Spatial and Single Cell Systems,<br>Senior Group Leader Shyam Prabhaka<br>(ただし、共同研究機関や責任者が追加される可能性があります。) |

## 6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者：

〒466-8550 愛知県名古屋市昭和区鶴舞町 65

名古屋大学大学院医学系研究科 腫瘍生物学

電話番号：052-744-2463

教授・近藤 豊

研究代表者：

〒466-8550 愛知県名古屋市昭和区鶴舞町 65

名古屋大学大学院医学系研究科 腫瘍生物学

電話番号：052-744-2463

教授・近藤 豊